

四日市版コミュニティスクール報告書（令和 6 年度総括）

四日市市立港中学校

校長 中井 克実

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- ①「地域に開かれた学校」を発展させ、保護者や地域の方が学校づくりに主体的に参画し、「地域とともに生徒を育てる学校」の実現を目指します。
- ② より実効性のある学校関係者評価を実現し、教育活動を改善します。
- ③ 保護者や地域の方が、学校の教育活動に積極的に関わることを通して、相互理解を深めたコミュニティスクールを推進します。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

（1）教育活動の実践事例

【地域の人材を活用したキャリア教育】

本校では、キャリア教育をすべての学校教育活動全校を通じて行っています。特に、2年生での職場体験学習は地域のサポートのおかげで、生徒たちが自分の生き方を見直す貴重な機会となっています。今年度も専門家を招いて、それぞれの職業や活動に対する姿勢や生き方についての講演会・体験会を実施しました。選んだ理由や大変さ、やりがい、そして職業や活動に臨む際の心構えについてお話いただきました。生徒たちは、自分がどのように生きていきたいかのイメージを持ち、自分の夢に向かって一步ずつ進む準備を進めることができました。

また、職場体験や講演会後には、その体験から得た気づきや学びをまとめました。生徒同士で意見を交換し、友人からの気づきを新たに学ぶ姿や、感謝の気持ちをどのように伝えるかを考えながら一生懸命に手紙を書いている様子が見られました。



【地域ラグビーチームとの体験会】



【地域ラグビー選手による生き方講演会】

【港中学校花いっぱい運動】

港中学校花いっぱい運動は、25年以上も続く本校の伝統活動です。毎学期に一度、各学年がプランターの花の植え替えを行っています。また、自主的な活動の一つとして、花植えボランティアを募り、花壇の植え替えも行っています。校舎周辺のプランターや花壇は、在校生だけでなく、訪れる保護者や地域の方々にも喜ばれています。

この活動はPTA活動とタイアップして、保護者の方々の協力を得て進められています。生徒たちは保護者と一緒に花を植えたり、交流したりすることで素敵な時間を過ごしています。また、毎年、JR 四日市駅にプランターの一部を寄贈しており、今年度も感謝状をいただきました。



【1年生 花いっぱい活動】

【JR 四日市駅から感謝状の贈呈式】

【浜田地区防災訓練】

12月に行われた浜田地区防災訓練に港中学校全校生徒が参加しました。今年は、避難所運営訓練を行いました。ICTを活用した避難所入退場の方法を試しましたが、円滑に入場する様子がありました。その後、実際に非常用の簡易トイレの組み立てや、体育館に設置されている緊急の電話の確認を行った後、三重大大学の川口先生から災害への対応についてわかりやすく教えてもらいました。3年生約20名の生徒が備蓄用アルファ米の炊き出しに参加しました。炊いたご飯は、参加者全員に配付されました。



【地域の皆さんと炊き出し】

【非常時の簡易トイレの設営体験】

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

C Sみなと運営協議会では、常に学校と家庭、中学生と地域との関わりを深めることを考えていただいています。委員の皆さんは、「中学生は地域の宝だ」という思いで、さまざまな行事に積極的に参加、協力していただいています。

昨年度から、子どもたちの意見を大切にしたいとのことで、生徒会本部役員とのランチミーティングを実施し、直接対話する機会を設けました。「どんな学校にしたいか」「どんな活動をしたいか」といった問いに、中学生ならではの意見が出されました。その意見をもとに、地域の祭りに生徒たちが運営としての参加が実現しました。生徒たちは地域に支えられていることを実感し、より身近に感じることができたようです。本校では地域の期待に応えるために学校行事を計画し、全国学力調査等の結果から学習の状況を把握するよう努めています。また、「学校評価」を実施し、教育活動の改善にも取り組んできました。学校と地域がそれぞれの活動を共有しながら、「地域の子どもは地域が育てる」を基本に「港中学校区」でよかったと思える生徒の育成に貢献できたと思います。

本校の大きな柱である「キャリア教育でついた力を子どもたちが実感できる取り組み」「地域の活動に看過しやすい環境づくり」等へのご意見をいただきました。これを受けて教職員の意識も変容し、教育活動に生かすことができるようになりました。

3 今後に向けて

浜田地区は、地域と学校とのつながりが深く、地域で子どもたちを育てていく地盤があります。今年度も生徒たちが地域の皆さんと「浜田地区防災訓練」に参加し、防災・減災の主たる担い手となる意識を持つことができました。さらに、地域の行事に中学生が運営ボランティアとして参加できたことは、数年後に、主権者として地域を支えていくことになる生徒たちにとって意義深いと感じます。今後は、地域の行事への参画の方法を考え、地域との連携を図りたいと思います。色々な世代をつなぐ手立てを今後も考え、新しい学校づくり、地域づくりに努めていきたいと思っています。

別紙B

令和6年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立港中学校

委員長　大平　亜希

校　長　中井　克実

月	協議会の開催	活　動　内　容
4		
5	第1回運営協議会 5/7	・コミュニティスクール運営協議会規約 ・令和6年度の組織・学校運営 ・令和6年度学校づくりビジョンの説明と承認 ・令和6年度年間計画と活動方針の検討 ・2年生花いっぱい運動①（5/22）
6		
7	第2回運営協議会 7/9	・1学期の教育活動の報告と評価 ・校内授業参観
8		
9	第3回運営協議会 9/26	・本校体育祭参観
10		・3年生花いっぱい運動②（10/9）
11	第4回運営協議会 11/1	・本校文化祭参観
12		・浜田地区防災避難訓練
1		
2	第5回運営協議会 2/4	・令和6年度学校行事及び教育活動の総括 ・学校アンケート結果及び考察と学校自己評価 ・学校関係者評価（次年度に向けて） ・花いっぱい運動③（2/21）
3		